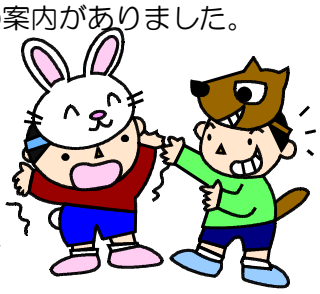
教育かわら版
こんにちは教育委員会です
ふたたび

No.１７８
令和４年１２月１５日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦

教育委員リレーエッセイ
『　子どもの力　』

今金町教育委員　　船　木　　恵

１１月末に、認定子ども園では毎年恒例のお遊戯会が開催されました。
園からは「……秋から冬へとバトンタッチをするこの時季、子どもたちは普段の生活の中で、曲に合わせて体を動かし、友達同士、表現遊びを楽しんでいます」との案内がありました。
日頃の園生活が目に浮かぶようです。



コロナへの対応もあり、５歳児の劇を楽しみましたが、（ちなみに演目は「大江戸大どろぼう！！」「おわりのことば」でした。）
どの子もそれはそれは見事に自分の役を演じ、はつらつとした笑顔と体全体を使った豊かさ、大きな声でセリフを言う姿に、一年間の成長を目の当たりにし、嬉しくまた頼もしさを感じさせられました。
最後には大親分に扮した園長先生も登場し、みんなで創り上げた劇に、大満足の子どもたちでした。一緒に楽しんでいる先生たちの顔からは、安堵とともにこれまでの奮闘も伺い知ることができ、本当に感謝の一言です。

人工的なもの、自然環境のめまぐるしい変化、様々な理解しがたい出来事に振り回されながら日々を過ごす今日。本当に幸いなことに、今金の子どもたちの輝いた顔から、永久に変わることのない純粋な力と、心の素朴な力の価値を私たち大人に再認識させてくれました。
茶目っ気たっぷりの子どもたちは、自身、気づきもしないでしょうが……。（笑）

この年長さんたちが、あと数か月すると新一年生になります。
小学校生活でも、いくつもの経験に向き合い、たくさんの助力と愛情を受け、自ら表現する喜びを心に刻みながら、まっすぐに育ってほしいと願うばかりです。



凛とした季節に

一気に雪が積もりました。この時期、峠道などで吹雪に出会うことがあります。ちょっと嫌だなあとは思うのですが、悪天候の方が「よし、やってやろう」という気にもなります。乗り越えた後をイメージして。
仕事でも、困難そうなことこそ、まずは落ち着かせようと前向きに捉えたいと思っています。
もっとも吹雪の時も、対向車があるときは緊張します。自分の目や耳での確認に神経を研ぎ澄ませます。カーナビや感知システム。
情報の把握が重要です。仕事でも、日頃からの、報告ー連絡ー相談ー確認が must です。
いざという時のあうんの呼吸につながるからです。
そう考えて仕事をしています。